

平成30年度 産学接続コースの基本情報について

1 コースの分類

分類名	プロ育成教育コース・専門教育コース
-----	-------------------

※①プロ育成教育コース・専門教育コース、②実践教育制度併設コース、③プロライセンスコースの3類型から選択。

【参考】大阪発「産学接続コース」の類型

プロ育成教育コース・専門教育コース	・プロ育成教育コースは、全学年を通じて、学校と企業とで策定されたカリキュラムを履修することとなります。授業全部が産学共同のカリキュラムであり、その中には企業で実施する現場実習も含まれます。 ・専門教育コースは、学校で学ぶカリキュラムの中に、企業と共同で実施する研修が組み込まれたものです。研修は企業の現場で実施されます。
実践教育制度併設コース	・実践教育制度併設コースは、学校で学ぶカリキュラムとは別に、学校が独自に研修制度を設置しています。希望者がこれを活用して、実践的な産学接続教育を受けることができます。
プロライセンスコース	・プロライセンスコースは、指定養成分野において、国家資格等の取得に必要な教育のほか企業や業界のニーズを踏まえたより実践的な教育が実施されることが特徴です。

2 学科概要

専修学校名	日本理工情報専門学校	分野区分	電気・電子
課程名	工業専門課程	修業年限	2年
学科名	電気デジタル情報科	学科定員数	60名
学科開設年月日	昭和52年4月1日	学科実員数	16名
コース設置年月日	昭和52年4月1日	推奨年度	平成30年度
当該学科の教育目標	工事担任者DD第一種、第二種電気工事士、第三種電気主任技術者の取得を目指し、その資格を活かせる職業に就くことができる技術者の育成を目的としている		
就職を目指す職業	電気通信工事・電気工事		
当該学科に対する業界のニーズ	業界における人材の確保。		

3 企業・業界との提携内容等(コースの内容) ※平成29年度実施内容

提携企業名(業界名等)	一般社団法人 情報通信エンジニアリング協会及び会員企業:日本コムシス(株)・日本電通(株)ミライト等(通信建設業)		
提携企業の具体的ニーズ	情報通信建設業における即戦力となる技術の修得		
コースの目標	学内では体験できない企業での実務を体験し、電気通信建設業の実際の業務を知り、職業選択の糧とする。		
企業等との提携内容や実習内容※両者の役割分担や共同作業の内容など	専門学校において、工事担任者DD第一種の短期養成課程を実施する。情報通信エンジニアリング協会内は、協会内における教育と会員企業への実習計画を立てる。		
提携契約期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日		
現場実習期間	平成29年8月21日～平成29年9月1日 (年・月・週間)×10回(60時間相当)		
コース受講生の募集及び実習先の選定方法	校内での説明会を開き研修内容を説明する。応募動機等を記入した申し込書の内容と面接で選考する。		
履修認定	履修認定時間／総授業時間	賃金支払	雇用契約
(有)・無	78時間／2652時間	有・無	有・無
無料職業紹介届出	実習に係る保険の種類	企業評価の有無	最賃との関係
(有)・無	インターンシップ保険	(有)・無	充足・非充足
評価方法	学校	実習担当者による学生の学修成果の評価を踏まえ成績評価・単位認定を行う。	
	企業	実習意欲・態度・礼儀・作業能力等の評価項目を設定し5段階評価を行う。	

学生への支援・配慮事項	学校:実習中に学校担当者が巡回指導を行う。 企業:適時実習状況についてアドバイスする。
-------------	--

※予定又は見込みの場合は()書きで記載すること。
 ※提携教育時数が学年ごとに異なる場合には各学年ごとに記載すること。

4 卒業・就職後の早期離職防止のための対策等(企業等における現場実習以外の対策)

卒業・就職後の早期離職防止のための対策と見込まれる効果(自由記述)
【対策】企業選択のため、企業訪問を奨励している。 企業や卒業生からアドバイスを受ける機会を多く設けている。
【効果】 企業訪問をすることにより、実際の仕事内容の理解を深めることができる。 また、卒業生からのアドバイスを受けることにより、実情に合った相談ができ、適切な企業選択ができる。

※在校生又は卒業生に対しての実施事例について、目的・効果と具体的内容を記載すること。

5 申請学科及び申請コースの就職状況又は見込(推奨年度の在籍生の卒業時の見込)

ア. 就職者数等	平成 28 年度(実績)	平成 29 年度(見込)
a. 学科修了者数	13 名	10 名
b. 「a」のうち、当該産学接続型職業教育の活用者数	4 名	4 名
c. 「b」のうち、就職希望者数	4 名	4 名
d. 「b」のうち、提携企業への就職者数	1 名	0 名
e. 「b」のうち、提携企業と同業界への就職者数	3 名	4 名
f. 「b」のうち、進学者数	0 名	0 名
イ. 主な就職先、業界等	電気通信建設業 電気工事業 電気設備業	

6 申請学科及び申請コースの中途退学の現状

ア. 中途退学者数・中退率
a. 中途退学者 0 名(中退率 0 %)
b. 平成28年4月 1日在学者 17 名(平成28年4月入学者を含む)
c. 平成29年3月31日在学者 17名(平成29年3月卒業生を含む)
イ. 中途退学の主な理由
経済的理由
ウ. 中退防止のための取組
担任によるカウンセリング 家庭訪問

7 学校関係者評価の実施・公表

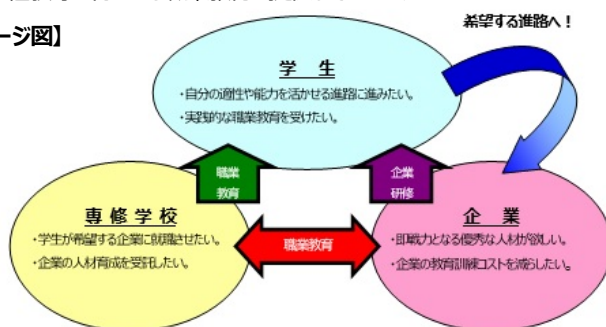
・学校関係者評価結果の公表先 URL:

■大阪発「産学接続コース」とは

企業等が求める人材育成を専修学校が受託し、学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供し学生に就職などの「出口が見える」職業教育を提供する専修学校の学科のことです。

この中で、専修学校は、企業との職業教育協定を締結するなど、産業界との連携の中で業界に求められる人材育成を行い、学生には、現場等での実践的な経験等の得られる職業教育を提供していきます。

【イメージ図】



○大阪発「産学接続コース」の要件

1. 専修学校と企業が「職業教育協定」を締結していること。
2. 企業コースに沿った「職業教育カリキュラム」を作成していること。
3. 企業における現場研修の場が提供していること。
4. 労働法規などの法令を遵守していること。
5. 専修学校と企業がコース修了生の評価を行っていること。
6. 卒業生の早期離職防止のための対策を講じていること。
7. 生徒等に対して進路選択に際して有益な情報を提供していること。
8. 学校関係者評価を行い、その結果を公表していること。